

中学校の休日部活動の

検討状況をお知らせします

尾張旭市教育委員会
令和7年12月<第3号>

少子化が進む中、中学校の部活動は、これまでと同様の体制で運営し続けることが難しくなってきました。また、教職員の働き方改革が求められるなどの課題もあり、改革が急務となっています。

こうしたことを受け、現在尾張旭市では、将来にわたり生徒がスポーツや文化芸術活動に継続して親しむことのできる機会を確保するため、さまざまな検討を進めています。

① 東邦ガス株式会社との実証実験

- ★ 東邦ガス株式会社と締結した「部活動改革にかかる実証実験に関する協定」に基づき、同社の社員等を指導者として配置する取組を進めています。
- ★ これまでの結果、生徒や保護者の皆さんから、信頼面において高い評価を得るなど、一定の成果が得られていますが、必要な種目への指導者の配置などの面で課題が確認されています。

② 地元企業との連携

- ★ 地元企業の皆さんに、ボランティアとして部活動のサポートをしていただいています。

③ 中学校合同クラブチームの運営

- ★ 市域の狭い本市の特性を生かし、合同でのクラブチームの運営を、市内三中学校のバスケットボール部を対象として試行的に実施しています。
- ★ これまでの結果、平日の活動との区別や、大会への参加方法などの面で課題が確認されています。

④ 民間企業による運営

- ★ 休日に限定した新たな種目や、参加費の負担を条件としたクラブの可能性を探るため、民間企業による「ダンスクラブ」の運営を試行的に実施しています。
- ★ これまでの結果、参加費の負担はありましたが、三中学校から16名の生徒の参加がありました。なお、参加者への連絡方法や、会場となる施設の施設などの面で課題が確認されています。

⑤ 国の動向

- ★ 「すべての子供たちへのよりよい教育の実現」を目指して、関係する法律が改正され、教職員の時間外在校等時間を大幅に削減する目標が定められました。

⑥ 今後の予定

- ★ 現在、上記の取組の状況や動向等を踏まえ、今年1月に定めた「今後の中学校休日部活動の考え方」の見直し作業を進めています。詳細については、令和8年1月末ごろに改めてお知らせします。